

賦何人連歌

六月ぬきまを

のこし山露れ 絶

こよふいけふ

さく時を 純書

とまきで枝は乃

まぐさのいより 宗仍

いと青しと地り

花の盛り越 絶

月や海をまより

のちとまうち色 絶表

秋とさる海に

雁へふるまう 永甫

あふは乃甲を

かのふ杉あり 真帖

いく朝夕れ

霞乃しり草 心算

野色ちりうさ馬屋

いとる注東して 絶

志しれりえ

旅のあひれ 芳溪

あけさる花の

戸がもたけいさる音

松よりあふ

まの音風 真帖

絶巴十二 祿永八

純書八 宗仍八

音溪十 永甫七

昌吐十二 經典八

心前十 重堅八

玄哉十 志純一

真帖八

志のまうと

六月十日 代舎人佑

六月十日 真